

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

Our Purpose

人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、「人間の生命（いのち）の輝き」をめ
ざす

売上収益
2.5兆円

営業利益率
10%超

フリーキャッシュフロ
1,400億円強

成長投資枠
3,000～6,000億円

2 中長期の経営戦略

1. コアブランドイノベーション強化

サントリー天然水、BOSS、伊右衛門、GREEN DA・KA・RA、特茶の活動強化。フレーバー展開や容器・容量帯拡充

3. 事業ポートフォリオ拡充

RTD展開、新ブランド開発・投入、M&Aによる成長投資。戦略ブランドのグローバル展開に注力

2. 地域別事業展開強化

日本の自販機構造改革、欧州のOasis・Orangina・Lucozade強化、アジアのSting・TEA+展開、米州の炭酸・非炭酸拡大

4. サプライチェーン革新

構造改革による収益力強化、生産設備増強による生産性向上、コストマネジメント徹底

3 対処すべき課題

① 不確実性高い外部環境対応

- ・消費行動の多様化に対応した新たな価値創造（イノベーション）
- ・事業変革（トランスフォーメーション）の加速

② グローバル競争力強化

- ・海外事業の迅速な変革加速と一体経営（2026年1月1日付組織変更実施）
- ・異なる考え・価値観の融合によるDEI推進

③ 環境・社会課題への対応

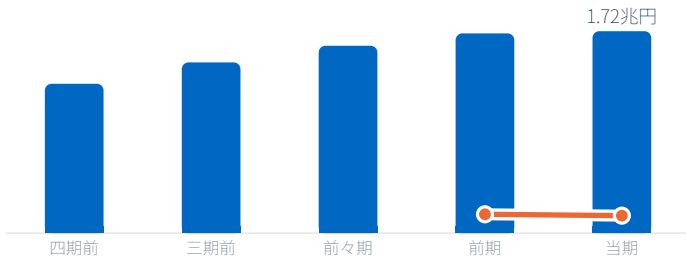
- ・水、温室効果ガス、プラスチックを重点領域とした環境対応
- ・環境目標2030達成に向けた活動強化

面接で使えるポイント

- ・ Our Purposeに基づき、人間の生命の輝きを目指しながら2030年売上2.5兆円を目指す経営姿勢
- ・ サントリー天然水、BOSS、伊右衛門など5つのコアブランドを中心にグローバルで展開する事業戦略
- ・ 水・温室効果ガス・プラスチックの3領域で環境目標2030達成に取り組むサステナビリティ重視姿勢

証券コード 2587

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.72兆円

営業利益率
8.7%

財務健康度
58点 / 100点

要するに

サントリーホールディングス傘下の飲料・食品セグメントの中核企業

主力事業・セグメント

- ・日本 42.9%
- ・アジアPacific 23.0%
- ・欧州 22.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1.72兆円の大企業
- ・営業利益率8.7%の安定した収益性
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 67.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,171万円

食料品内 2位/120社

平均年齢

40.1歳

食料品内 88位/121社

平均勤続

15.0年

食料品内 65位/121社

女性管理職

10.1%

食料品内 59位/106社

男性育休

105.7%

食料品内 3位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: コンディションや気分を、軽やかにととのえる。“好き”に夢中な

